

## アムンディ・マーケットレポート

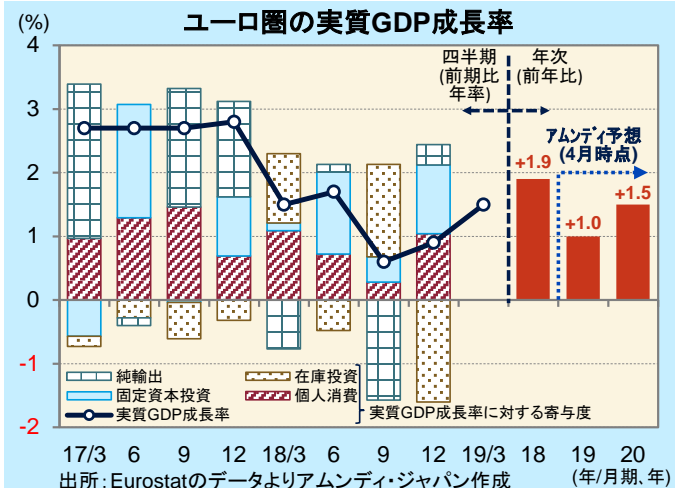
## ユーロ圏の19年1-3月期 GDP 速報～今後の景気とユーロ相場の展望

- ① 実質 GDP 成長率は前期比年率+1.5%と潜在成長率並みに回復し、持ち直しが鮮明化しました。
- ② 個人消費が持ち直し、外需も底打ちしてきた一方、在庫削減圧力から生産は抑制されると見込まれます。
- ③ 年後半は緩やかな景気拡大で安定、政治リスクも減退し、ユーロは次第に水準を切り上げると考えます。

## 低調な企業活動を個人消費と外需がカバー

30日、Eurostat（EU 統計局）が発表した19年1-3月期の実質 GDP（速報）は前期比年率+1.5%でした。3期ぶりに+1%台の成長ペースを取り戻し、持ち直しが鮮明化しました。

GDP の内訳が未発表なので、主な経済指標を見ると、1-3月期の小売売上高は前期比年率+2.7%と、個人消費は堅調です。一方、1-2月平均の鉱工業生産も1-3月平均対比で年率+3.2%と堅調ですが、企業の在庫が高水準となっており、在庫削減のため、企業生産は抑制される公算が大きくなっています。外需は輸出入共に伸び悩んでいます。低調な企業活動を背景に特に輸入が弱く、結果的にプラスに寄与したと見られます。

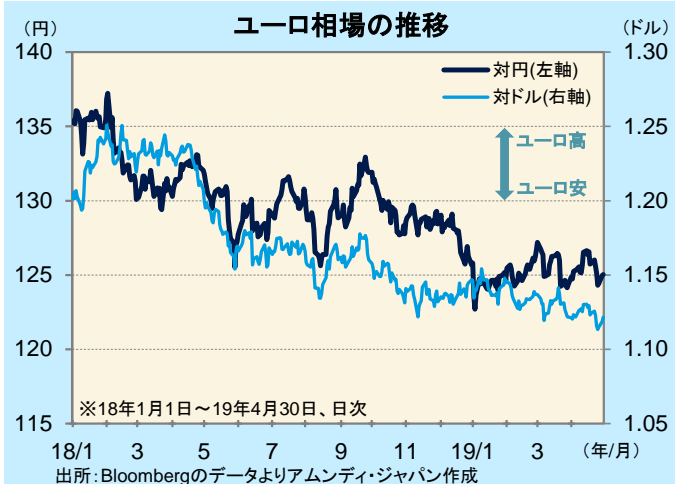


内容を推測すると、実質 GDP 成長率は上昇したものの、減速圧力は依然残っていると言わざるを得ません。在庫削減が進むには輸出の回復が待たれますが、そのためには世界的に景気下押し圧力が減退することが肝要です。ただし、これについては、金融政策正常化の流れが止まったことが追い風になり、年後半以降は、緩やかながらもより安定した景気拡大に向かうと予想されます。

## ユーロの頭を抑える政治リスクの減退待ち

景気減速によって長期金利が低下し、一時的なものを除くと、ほぼ3年ぶりのマイナス圏となっています。かつ先高期待も大きく後退しており、ユーロ相場は、弱含みの展開が続いています。

米景気が底堅いこともあり、ドル高が主導する形でユーロに下押し圧力がかかる展開が、当面は続かざるを得ない情勢です。英国の合意なき EU（欧州連合）離脱のリスクが払拭できず、ユーロにとって逆風になっていることも苦しいところです。それでも、年後半に期待される景気拡大の安定化、政治リスクがイベントを一つひとつこなして減退して



していくことで、ユーロは年末に向けて次第に水準を切り上げていく展開になると考えます。

## 本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。  
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。  
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

## 投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

## リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1905002>